

早急な教育環境改善を

大阪市議会委 山中氏求める

日本共産党の山中智子大阪市議は25日の市議会教育こども委員会で、大阪市初の義務教育学校（小中一貫校）「生野未来学園」の教育環境と危険な通学路の改善を求める陳情を取り上げ、「無理な統廃合によって教育環境への影響が続いていて、地域や保護者から心配する声が出ている。地域や現場の声をよく聞いて、早急に子どもたちや保護者の立場に立って危険の解消に努めてほしい」と採択を求めました。

生野未来学園は2022年4月開校以来、3年半の間ずっと校内の増築工事などが続き、子どもたちが落ち着いて学習できる環境になつておらず、学校統廃合による遠距離通学（遠いところで30分超）など危険な通学路の改善もすすんでいません。

山中氏は、統廃合によって教室が足りない学校が生じるなど統廃合が生み出す矛盾を指摘し、「効率化やコストダウン優先の大阪市の適正配置を見直す必要がある」と強調しました。



質問する山中議員
25日、大阪市議会